

# 「平成25年度供給計画」の概要

## ① 電力需要見通し

### 〔販売電力量〕

- 平成25年度の販売電力量は、至近の景気回復の見通しを反映したものの、前年の気温影響の反動減により、2,670億kWh、前年比 ▲0.6% (気温補正後 同 +0.9%)となる見通しです。
- 中長期的には、平成24年度並みの節電の継続を見込むものの、緩やかな経済成長により、平成24～34年度の年平均増加率は 1.0% (気温補正後)を見込んでおります。

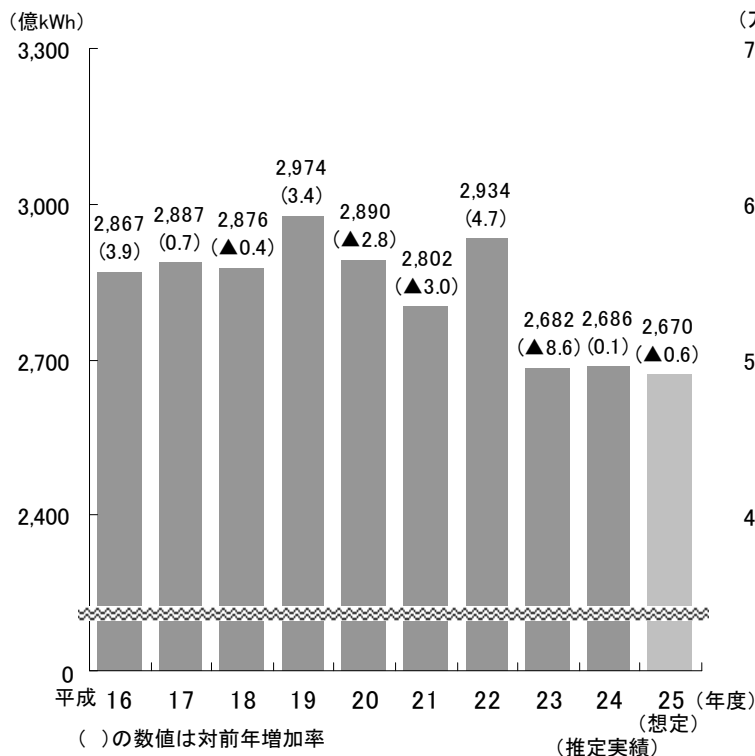
### 〔最大電力〕

- 平成25年度の最大電力 (送電端最大3日平均) は、販売電力量想定と同様、景気・節電見通しをもとに想定し、需要抑制方策の効果を24年度実績と同程度織り込んだ結果、4,982万kW、前年比 +1.4% (気温補正後 同 +1.3%)となる見通しです。
- 中長期的には、販売電力量想定と同様、平成24～34年度の年平均で 1.0 % (気温補正後)の伸びを見込んでおります。

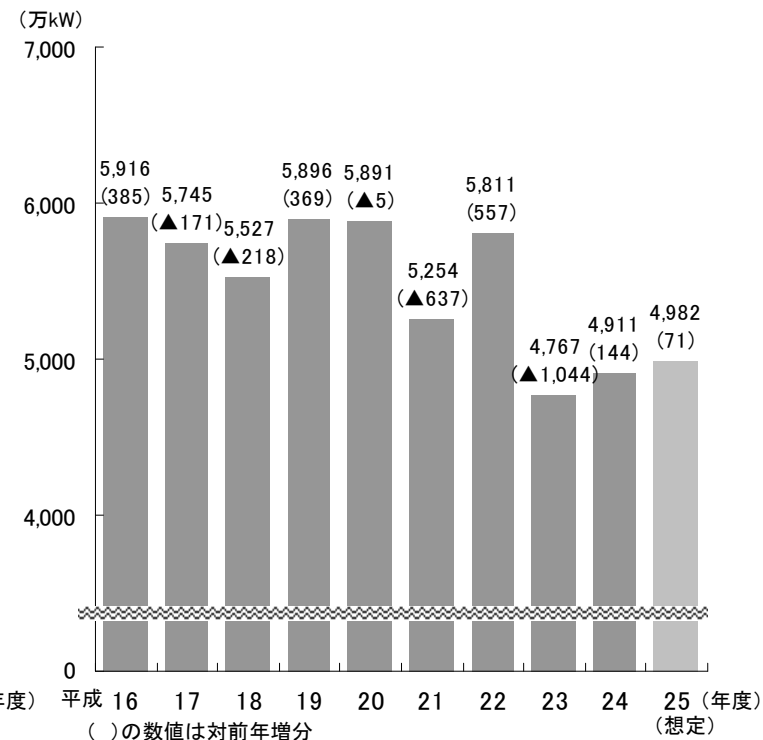
		平成23年度 実績	平成24年度 推定実績	平成25年度	平成34年度	平成24～34 年平均増加率 (%/年)
販売電力量 (億kWh)		2,682	2,686	2,670	2,925	—
	対前年増加率 (%)	▲8.6 (▲7.9)	0.1 (0.6)	▲0.6 (0.9)	—	0.9 (1.0)
夏期 最大 電力	送電端 最大3日平均 (万kW)	4,767	4,911	4,982	5,453	—
	対前年増加率 (%)	▲18.0 (▲19.0)	3.0 (7.4)	1.4 (1.3)	—	1.1 (1.0)

(注) 販売電力量の( )内は気温うるう補正後。最大電力の( )内は気温補正後の増加率。

### 【販売電力量の推移】



### 【夏期最大電力の推移 (送電端最大3日平均)】



## 2 電源設備計画

### 【主要な電源開発計画】

	地点名	出力(万kW)	運転開始年月
水力	神流川2号, 3~6号	47×5	24/6, 35年度以降
	葛野川4号, 3号	40×2	26/5, 35年度以降
石炭火力	常陸那珂2号	100	25/12
	広野6号	60	25/12
LNG火力	川崎2号系列	192	25/2, 28/7, 29/7
	千葉3号系列	150	26/4, 26/6, 26/7
	鹿島7号系列	124.8	26/5, 26/7, 26/6
	五井1号系列	213	35年度以降
原子力	東通1号, 2号	138.5×2	未定
新エネ	東伊豆風力	1.837	27/3

### 【緊急設置電源の廃止計画】

	地点名	出力(万kW)	廃止年月
緊急設置電源	袖ヶ浦GE	11.22	25/3
	横須賀3, 5, 6号GT	32.96	25/3, 25/6, 25/6

(注) GE: ガスエンジン

## 3 流通設備計画

### 【主要な送変電設備整備計画】

	件名	電圧(kV)	規模	運転開始年月
送電	西上武幹線新設	500	110.4km	26/6
	川崎豊洲線新設	275	22.2km	28/11
	千葉葛南線新設	275	30.4km	26/3
変電	新茂木変電所増設	500	1,500MVA	25/3
	京浜変電所取替	275	450MVA / ▲220MVA	25/6
	代官山変電所新設	275	600MVA	35年度以降

(注) 送電の規模欄は亘長、変電の規模欄は増加出力を示す。

## 4 広域運営

### 【電源の広域開発計画】

	地点名	開発会社	出力(万kW)	運転開始年月
原子力	大間	電源開発(株)	138.3	未定

### 【広域連系設備の整備計画】

	件名	電圧(kV)	規模	運転開始年月
50Hz-60Hz 連系	東京中部間 直流幹線(仮称)新設	未定	約100km	32年度
	新信濃変電所交直変換 設備(仮称)新設	未定	900MW	32年度